

日本史特殊講義6B－ I

科目ナンバリング JPH-211
選択必修 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、19世紀前後の学問や技術の諸相を、文化史的な視点から取り上げ講義する。それぞれの事柄が、国際情勢や政治状況とどのように関連し合っていたのか、また地域的にどのような展開がみられたのか、といった点にも着目しつつ、近世から近代へ移行する時代についての理解を深める。

2. 授業の到達目標

- ・学問や技術に関するさまざまな営為が、時代の変容とどのように結びつき、あるいはどのように影響し合っていたのか、ということについて、各自が考察できるようになる。
- ・関連の史料に触れ、その歴史的価値を理解できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①中間レポート(30%)
- ②期末試験(50%)
- ③毎回のリアクションペーパーの内容(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

藤田覚 日本の時代史 17 近代の胎動 吉川弘文館
井上勲 日本の時代史 20 開国と幕末の動乱 吉川弘文館
平川新 全集 日本の歴史 第12巻 開国への道 小学館
浪川健治・古家信平 江戸ー明治 連続する歴史 藤原書店

5. 準備学修の内容

毎回の授業内で提示するテーマについて、授業後に各自で調査や考察を行ない、次の授業のリアクションペーパーにその成果を反映させること。

6. その他履修上の注意事項

- ・レジュメが配布されることに安心せず、メモやノートをしっかり取ること。
- ・講義内容をもとに自分自身で思考し、視野や関心を広げること。
- ・授業内容については、進捗状況等により、多少変更する可能性あり。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容、進め方、評価等についてのガイダンス
- 【第2回】 19世紀目の日本列島
- 【第3回】 「世界」の認識
- 【第4回】 漂流民による情報伝播
- 【第5回】 長崎の役割
- 【第6回】 暦と幕府天文方
- 【第7回】 測量技術の発展と地図
- 【第8回】 前半のまとめと中間レポートについて(オンライン)
- 【第9回】 望遠鏡と天体観測
- 【第10回】 和算と算額
- 【第11回】 蘭学の展開
- 【第12回】 シーボルトの来日
- 【第13回】 博物学への関心
- 【第14回】 園芸文化の隆盛
- 【第15回】 後半のまとめと試験